

第4回 ITS シンポジウム 2005

Final Program

2005年12月1日(木) ~2日(金)

会場: 東京大学 生産技術研究所 コンベンションホール
東京都目黒区駒場 4-6-1

主催: ITS Japan

共催: 東京大学生産技術研究所 先進モビリティ連携研究センター

協賛: (社)計測自動制御学会、(社)交通工学研究会、(社)自動車技術会、(社)情報処理学会
(社)人工知能学会、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、(社)土木学会、(社)日本機械学会
(社)日本ロボット学会、情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会
情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会、電子情報通信学会 ITS 研究会
電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究会

12月1日(木)

09:00 開場

09:30-09:40 開会式

司会: 寺島大三郎 (ITS Japan 専務理事 事務局長)
実行委員長挨拶: 桑原雅夫 (東京大学国際・産学共同研究センター 教授)

09:40-11:10 O1: 論文発表セッション I 「事故・安全」

座長: 安井一彦 (日本大学理工学部社会交通工学科 専任講師)
田久保宣晃 (警察庁科学警察研究所交通科学部 主任研究官)

- O1-1 複数の車載カメラによる鳥瞰監視システムの提案 (楊長輝 本郷仁志)
- O1-2 重交通トンネルにおける交通異常検出の精度向上 (田沢誠也 長谷川栄一 数野慶久 上條俊介)
- O1-3 人間・自動車系の動特性に適合するステアパイワイヤシステムに関する研究 (永井正夫 吉田秀久 ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク 山田将也)
- O1-4 車両反応時間と車間距離を同時に考慮した車群追従走行の安全性評価 (鈴木宏典 藤井健)
- O1-5 大規模事故データからの事故要因知識発見 - 不確定データ空間の多次元探索による仮説生成 - (藤平健二 福壽康弘 割田博 田中淳 上條俊介)

11:10-11:20 休憩

11:20-12:40 G1: オーガナイズドセッション I 「安全」

オーガナイザ・司会: 津川定之 (名城大学理工学部情報工学科 教授)

- G1-1 リスクアセスメントとその実際: 向殿政男 (明治大学理工学部情報科学科 教授)
- G1-2 ヒヤリハットデータ収集・分析による事故防止への取り組み: 鎌田実 (東京大学大学院工学系研究科 教授)
- G1-3 自動車の予防安全システムの効果とリスク: 山田喜一 (日本自動車研究所予防安全研究部)
- G1-4 車両安全通信: 津川定之 (名城大学理工学部情報工学科 教授)

12:40-13:40 昼食

13:40-15:40 P1: ポスターセッション I

座長: 鈴木高宏 (東京大学大学院情報学環 助教授)
影沢政隆 (東京大学大学院情報学環 助手)

- P1-1 高知における IT 技術を用いた路面電車の安全対策に関して (松本 修一 岡村健志 筒井啓造 北川尚 江淵誠 熊谷靖彦)
- P1-2 付加車線の車線利用率は正効果に関する影響要因の実証的研究 (渡辺亨 野間哲也)
- P1-3 先進デマンドバスシステムの構築 (林田守正 水間毅 大野寛之 成澤和幸 大聖泰弘 石太郎 高橋俊輔 紙屋雄史)

- P1-4 上郷 SA スマート IC 社会実験の利用意識評価 (藤田素弘 鈴木弘司 河村陽平 市川貴也)
- P1-5 冬期の道路サービスの向上施策とその評価 (菊池恵子 根本千衣 浜岡秀勝 武藤徹 西川文隆)
- P1-6 サイクリング情報システムに対する利用者評価の実証的分析 (周藤浩司 藤原章正 張峻屹 李百鎮 原田和久)
- P1-7 パスロケーションサービスに基づくバス停間所要時間予測を通じた一般道路所要時間予測 (成松裕介 工藤宏之 内村圭一 胡振程)
- P1-8 道路管理支援システム(MDSS)における吹雪情報の活用 (松沢勝 加治屋安彦 山際祐司)
- P1-09 車両軌跡データを用いたコンフリクト指標に基づく危険事象発生プロセスの考察 (八木裕介 宇野伸宏 飯田恭敬 田中久光 山田哲也)
- P1-10 混雑料金システム下における逐次経路変更・出発時刻調整行動の室内実験による分析 (劔崎聖生 清水哲夫 平松郁巳)
- P1-11 地方都市での MODERATO-E II 信号制御方式導入による効果 (椿孝一 渡邊和彦 浅羽正和)
- P1-12 地方都市圏の高速道路料金通勤割引制度における均衡分析 (應江黔 安藤良輔)
- P1-13 路車協調システムを活用したカーブ区間における安全走行支援サービスの社会実験結果について (牧野浩志 山崎勲 平沢隆之 山田康右 水谷博之)
- P1-14 一括割り当て型 DRT 運行計画システムの開発 (堀場詳二 倉内文孝 嶋本寛 飯田恭敬)
- P1-15 首都高速道路箱崎ロータリー近傍におけるビデオ画像データを用いた渋滞発生メカニズムの分析 (船岡直樹 佐藤光 岡村寛明 割田博 赤羽弘和 堀口良太)
- P1-16 リアルタイム交通監視システムで用いる意味階層構造 (劉小路 藤平健二 上條俊介 坂内正夫)
- P1-17 安全運転管理教育システム(ASSIST)における指導方法の改善 - 新しい自動車運転事故防止の理論に基づく管理・教育型 ITS - (浜田裕幸 松永勝也 合志和晃 志堂寺和則 松木裕二)
- P1-18 ASSIST における携帯メールによる安全運転の管理・教育 - 新しい自動車運転事故防止の理論に基づく管理・教育型 ITS - (合志和晃 船戸将一 松永勝也 泉貴浩 浜田裕幸 志堂寺和則 松木裕二)
- P1-19 Evaluation of Bus Lane Policy by Microscopic Simulation Model (Madhu Errampalli 奥嶋政嗣 秋山孝正)
- P1-20 需要交通量の時間的変化を考慮した時間帯別混雑料金に関する分析 (小川圭一)
- P1-21 都市間高速道路と鉄道新線の連携による首都高速道路の混雑解消施策の可能性 (内山久雄 高橋浩一 山下良久 小長井教宏 貞清一浩)
- P1-22 冬季道路管理業務への可視画像式路面センサの活用 (平井節夫 牧野浩志 山崎勲 大久保康雄)
- P1-24 駐車管理のための路上駐車帯設置効果の評価 ~複合現実感交通実験スペースを活用した効率性・安全性分析 (田中伸治 桑原雅夫 白石智良 加納誠 織田利彦 増山義人)

15:40-15:50 休憩

15:50-17:20 O2: 論文発表セッション II 「アーキテクチャ・プローブ」

座長: 森川高行 (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)

野崎敬策 (交通ジャーナリスト・ITS プロデューサー)

- O2-1 DSRC 応用サービスのためのセキュリティプラットフォームの開発 (丸岡寛 梅田雄康 西村光主)
- O2-2 ドライバの運転状態検知・監視2 -視線検出と脇見検知への適用- (鳥山将司 井東道昌 山本修身 中野倫明 山本新)
- O2-3 プローブの走行パターンを利用した統合型車載機での異常渋滞判定アルゴリズムの開発 (堀口良太 和田光示)
- O2-4 ドライビングシミュレータの旋回運動性能向上によるドライバの運転挙動に関する研究 (須田義大 大貫正明 高橋良至 小峰久直 松下晃介)
- O2-5 ドライバ挙動モデルの開発 (加納誠 白石智良 丸岡勝幸 石川裕記 見持圭一 山本隆嗣 酒井蘭美 辻求 桑原雅夫)

17:30-19:00 パンケット 同会場 ホワイエにて

12月2日(金)

08:30- 開場

09:00-10:30 O3: 論文発表セッションⅢ「交通管制・交通計画」

座長: 朝倉康夫 (神戸大学大学院 自然科学研究科 教授)

上野秀樹 (株式会社東芝 官公システム技術部)

- O3-1 プローブデータを用いたタクシー挙動の分析 (吉井稔雄 藤田大輔 北村隆一)
- O3-2 RFID タグを電子道路標識とした車内標識提示システムの構築と検証 (佐藤義通 蒔苗耕司)
- O3-3 速度分析を通じた運転支援, シミュレータのパラメータ, 道路設計への提言 (割田博 岡村寛明 森田綽之 桑原雅夫)
- O3-4 交通シミュレーションを用いた定期的に更新される経路誘導システムの効果分析 (金俊鏞 坂本邦宏 久保田尚)
- O3-5 高度デマンド信号制御方式と系統制御方式の性能比較 (麻生敏正 長谷川孝明)

10:30-10:40 休憩

10:40-12:10 G2: オーガナイズドセッションⅡ「プローブ」

オーガナイザ・司会: 植原啓介 (慶応義塾大学大学院 特別研究助教授)

- G2-1 ITS セカンドステージにおけるプローブ: 平井節生 (国土交通省国土技術政策総合研究所 ITS 研究室長)
- G2-2 プローブ情報を活用した動的経路案内システムの研究開発
-P-DRGS コンソーシアムの取り組みと展望- : 三輪富生 (名古屋大学大学院環境学研究科 研究員)
- G2-3 フローティングカーシステムの実用化と効果について: 柘植正邦 (本田技研工業株式会社インターナビ推進室)

12:10-13:10 昼食

13:10-15:10 P2: ポスターセッションⅡ

座長: 田中伸治 (東京大学生産技術研究所第3部 助手)

高橋良至 (東京大学国際・産学共同研究センター 特任助手)

- P2-1 2.4GHz 帯を用いた場所検知システムの開発 (河野実則 武内保憲)
- P2-2 ドライバの制動動作解析に関する一考察 (鷺野翔一)
- P2-3 反対色型視覚フィルタによる道路交通標識の実時間認識 (馬場今日子 平井有三)
- P2-4 プローブデータを用いたバス運行状況の評価と道路交通特性の影響分析
(田村博司 永廣悠介 宇野伸宏 飯田恭敬)
- P2-5 Time-To-Collision はブレーキ操作タイミングを決定するか (森田和元 大野督史 関根道昭)
- P2-7 高速道路サグ部における AHS 円滑化サービス評価用交通シミュレータの開発
(花房比佐友 堀口良太 桑原雅夫 田中伸治 牧野浩志 大内浩之)
- P2-8 ドライバの運転視力測定システムと高齢者の視野測定 (高木佳哉 山本修身 中野倫明 山本新)
- P2-9 ウェブサイト運営を通じた北の道のニーズ分析とブランドづくり
-6年間にわたる「北の道ナビ&北の道の駅」の運営の経験から (加治屋安彦 山際祐司 蔵本尚啓 正岡久明)
- P2-10 画像処理による交通量計測システムの開発と性能検証 (鈴木一史 中村英樹)
- P2-11 ドライバの運転状態の検知・監視1 -携帯通話に伴う思考集中の検出- (高橋健一 山本修身 中野倫明 山本新)
- P2-12 ドライバの運転視力測定システムと高齢者の動体視力・深視力測定 (萩尊史 山本修身 中野倫明 山本新)
- P2-13 車両空間適合型追突防止ファジィ制御の基礎特性 (羽山祐司 涌井文雄 泉隆)
- P2-14 3眼視ステレオによる走行環境中移動障害物の検出 (陸哲元 Wang Jia 松島宏典 胡振程 内村圭一)
- P2-15 City Range Data Analysis (トウ利洪 小野晋太郎 影澤政隆 池内克史)
- P2-16 DSRC によるアップリンク情報を活用した走行支援サービスの検討
(牧野浩志 大内浩之 高宗政雄 竹中憲郎 井上洋)

P2-17 スマートICの社会実験（平井節夫 大内浩之 真部泰幸）

P2-18 ユーザ知識と交通情報に基づく経路選択の基本モデル
（本多建 桑原雅夫 勝呂純一 花房比佐友 新井寿和 古川誠）

P2-19 M-CubiITS における車両走行測位実験（金帝演 長谷川孝明）

P2-20 視覚障害者誘導用ブロックを用いた WYSIWYAS 歩行者ナビゲーションシステムの構築と実験
（山下清司 長谷川孝明）

P2-21 障害者等ITバリアフリープロジェクト ー歩行者誘導用統合端末の開発ー
（鎌田実 北風晴司 久良知國雄 松村孝好 杉真理子 長岡康範 勅使河原元）

P2-22 カーブおよび直線道路区間における有効視野の基礎的検討
（近野淳一 押切省二 佐藤美恵 長谷川光司 春日正男 阿山みよし）

P2-23 自動車最高速度制御による ITS のパラダイムシフト -ソフトカー・プロジェクトを踏まえて-（小栗幸夫）

15:10-16:10 招待講演

環境 ITS への期待：森川高行（名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 教授）

16:10-16:20 休憩

16:20-17:30 O4:論文発表セッションIV「地図技術」

座長：関本義秀（国土交通省国土技術政策総合研究所高度情報化研究センター 研究官）
東重利（トヨタ自動車株式会社 IT・ITS 企画部企画室 主査）

O4-1 時空間連続観測車両による周辺車両の走行挙動計測（小宮粹史 大口敬 赤羽弘和 堀口良太 桑原雅夫）

O4-2 GPS 携帯端末による交通モード自動判定法の開発（前司敏昭 堀口良太 赤羽弘和 小宮粹史）

O4-3 高精細三次元データと航空画像を用いた建物変化検出（中川雅史 柴崎亮介）

O4-4 画像ベースレンダリングによる高速道路サグ区間における運転シミュレーション映像の生成（計画概要）
（小野晋太郎 小川原光一 影沢政隆 川崎洋 大貫正明 本多建 池内克史）

17:30-18:00 論文賞授与式・閉会式

司会：緑川雅志（ITS Japan 常務理事）

優秀対話講演論文賞 授与

プログラム委員長挨拶：長谷川孝明（埼玉大学工学部電気電子システム工学科 助教授）

